

佐藤家住宅主屋、東土蔵、西土蔵、長屋門



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	さとうけじゅうたくしゅおく、ひがしどぞう、にしどぞう、ながやもん
所在地	倉敷市福田町古新田
登録年月日	平成31年3月29日
解説	<p>倉敷市南部の田園地帯に、江戸中期以降に建てられた農家で、佐藤家は福田の新田開発に関わった大庄屋を務めていた。主屋は、敷地中央に南面して建つ入母屋造り茅葺き(金属板仮葺き)の木造平屋建てで、四周に本瓦葺きの下屋(げや)を廻す。東に土間、西に前後2列に部屋を並べ、背面に座敷棟を付すなど備前地方平野部の伝統的な民家形式をよく示す。東土蔵・西土蔵は主屋の北に建ち、切妻造り本瓦葺き、土蔵造りの木造二階建てである。外壁は漆喰塗りで腰を縦板張りとしており、伝統的な屋敷構えを構成している。</p> <p>長屋門は敷地南面の東寄りに建ち、入母屋造り本瓦葺き木造平屋建てで、背面に下屋を通す。花崗岩の基礎石に土台を載せ柱を立てる。上層農家の伝統的な屋敷構えを形成している。</p>
アクセス方法	水島臨海鉄道栄駅から車で5分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	佐藤家住宅主屋、東土蔵、西土蔵、長屋門
よみかた	さとうけじゅうたくしゅおく、ひがしどぞう、にしどぞう、ながやもん
しょざいち (所在地)	倉敷市福田町古新田
とうろくしたひ (登録した日)	平成31年3月29日
せつめい	倉敷市南部の水田地帯に、江戸中期以降に建てられた農家の建物です。日常生活を送る主屋と蔵、敷地に入出入りする門があります。東側に土間、西側に前後二列に部屋を並べ、後ろ側に座敷棟を付けるなど、備前地方の平野部の伝統的な建物の特徴をよく示しています。